

改憲阻止、運動の倍加と強力な仲間づくりを！

- 07年度県大会盛会のうち終わる -

青空のもと6月17日、県大会が石岡で開催されました(66名参加)。忙しいなか山中たい子県会議員が熱心の挨拶に駆けつけてくれ、また、日本平和委員会からは新村美幸さんが取材できてくれました。16名の代議員からの発言があり充実した大会となりました。以下、運動方針の骨子を報告します。

平和をめぐる情勢と私たちの運動

- この1年、最大の特徴は教育基本法の改憲と憲法改正手続き法=国民投票法」が制定され、憲法改正が政治日程にのぼったと事です。他方、憲法改正の憲政地は安保体制強化=米軍再編成と、その推進力の有事法制=国民保護法等も急速に進んでいます。
- 憲法改正の対決は、自民党・公明党・民主党+右翼政治勢力と憲法擁護の政治勢力・主権者国民にあり、国民過半数の「争奪戦」となります。大切なのは改正の発議をさせない運動です。

運動の基本

- 運動の基本は改憲阻止のための運動倍加をめざし、それに見合う仲間づくりに全力を尽くします。また、他団体との共同行動を重視していきます。
- 日常的な運動や会議をいっそう工夫し活動改善をすすめます。

運動の課題方針

- 改憲阻止の運動は県民の理解と参加が決定的です。県民への訴えや宣伝に重点をおきます。学習を基礎にした活動と地域ニューズ発行・定期化を重視します。
- 県民への宣伝「見てもらう・読んでもらう・聞いてもらう・書いてもらう」4つの総合宣伝戦をおこないます。地域ニューズの重視と地域宣伝行動を強めます。
- 「5・3憲法集会」を水戸やその他の地域で成功させていきます。
- 「9条の会」の運動をいっそう前進させるために、9条の会に携わっている会員相互間で意見交換する場をつくっていきます。
- 日米安保と米軍擴ぐるなどの取り組みでは「実行委員会」の組織強化を他団体と協議し運動をつよめます。
- 全市町村林檎の目国民平和行動の実現。世界大会に「平和大使」を派遣するよう自治体に申し入れを行なっていきます。
- 組織強化委員会を発足させ、実増100名を掲げます。
- 平和と年金・住民税などの生活要求を合わせて運動していきます。
- 朝鮮の慰問社会復活の国民・民主運動を激発する自衛隊に抗議と監視を強めます。



07年度茨城県平和委員会役員新体制決まる

代表理事

飯村 一雄 (内原・友部)・加藤 孝生 (東海)
松原 日出夫 (水戸西)・水野 秧一郎 (阿見)
山口 由夫 (石岡)

事務局長

伊達郷右衛門 (内原・友部)

理事及び常任理事(下線とゴツク表記)

北茨城	鈴木 孝夫・藤田 穂威雄
美和緒川	高沢 喜一・小林 茂
日立	岩間 雅美
太田	福田 巨男
大宮	小野瀬 實
東海	川崎 勝男
ひたちなか	大和田 喜市・人見 忠男
那珂	川又 俊水・根本 信正
水戸西	岩清水 昌子・小川 弘二・高見沢 達
水戸南	石島 昭夫・神永 壮行
花だいらこん	菊地 浅子・中山 弘子
はばたき	江尻 大祐
内原・友部	丹道 正三・山田 修一・川井 光
笠西	池田 征一・多崎 貞夫
鹿行	内田 泰山・風間 達夫・小久保 莊一・関口 正司
潮来市役所	佐藤 正美・鈴木 秀幸
池貝	小川 隆
石岡	稲田 明告・植田 金雄・川並 英二

やさと 町田 健一・柳岡 修二

百里 衛

土浦 斎藤 房雄・山口 雪雄

阿見 福田 正・宗田 和子

つくばみらい 芦田 洋治・小川 三也

筑守 斉藤 哲

竜ヶ崎 町田 正昭・宮澤 利春

江戸崎 山口 清吉

ふじしろ 根本 和彦・杉山 恵美子

取手 花沢 楓・谷口 誠一

下館 川澄 正明・小林 清・前田 清

つくば ゆうき

さかい 叶谷 正・宮本 一子

古河・総和 金子 勉・染谷 卓勇

五霞 青木 不二子

美浦 長山 静雄

青年理事 金子 岳司 (牛久)

会計監査 椎名 定 (東海)・羽鳥 茂 (水戸西)

日本平和委員会理事及び常任理事

全国理事 伊達 郷右衛門 人見 忠男 水野 秧一郎

山口 由夫・金子 岳司 (全国青年理事)

全国常任理事 加藤孝生

ご苦労様でした。(勇退される常任理事と会計監査)

秋元 喜代二 (下館)・芦田 洋治 (つくばみらい)

井上 仁志 (土浦)・大和田 喜市 (ひたちなか)

坂本 薫 (はばたき)・松坂 美知子 (江戸崎)

荒木 睦子 (水戸西・会計監査)

(以上敬称略)

平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahnei@amber.plala.or.jp

No.474

月3回 発行

2007.6.25



代議員の発言要旨から

斉藤哲（守谷）：毎年8月に市役所ロビーで戦争展を開催している。今年は3年目で沖繩戦の写真展をいる（1年目は原爆展、2年目は東京大空襲）。ニューズ月2～3回出して現在29号（日本平和委員会全国機関紙コンクールで新人賞）。5月には17名で東京大空襲の早乙女資料館を見学。仲間づくりは1年間3名した。



伊藤昭子（水戸西）：レストラン経営者がお店に「憲法カード」を置いてくれました。「お客が減るのでは」話には「大丈夫」とお店の前に「憲法9条大好き」の看板もだしてくれました。会議は隔月、ニューズの手配り、恒例の手作りでの平和納涼祭・望年会はみんなが楽しみにしています。



山口由夫（石岡）：自衛隊の国民監視が問題になっている、方針案に補充してもらいたい。平和を守る運動と年金・住民税増額など暮らしを守るたかいを合わせて取り組む必要がある。9月8日には「日本の青空」の上映を行なう。各地でも開催した方がよい。

川又俊水（なか）：茨城には「9条の会」が少ない。学校区ごとにつくりたい。なか9条の会では元町長のよびかけ人になってくれた。6月18日から2週間、宣伝カーを回らす。戦争体験者からの平和の尊さを記した冊子を500部いただき普及している。



植田金雄（石岡）：地域では年金や消費税・住民税が大問題になっている。平和委員会も積極的に取り組んでほしい。



芦田洋治（つくばみらい）：会員の声を反映する地域ニューズの発行を重視している。取手で「日本の青空」を上映、700名が鑑賞。『新しい憲法のはなし』50冊普及。25部追加注文している。5月20日の総会では非会員の方が参加され仲間になってくれた。



大和田喜市（ひたちなか）：6月3日13名で総会。共同行動で自衛隊の監視や成人式、新春のつどいなどを毎年おこなっている。方針では「基地の調査」が入っていないが入れたほうがよい。



福田正（阿見）：広島・長崎への「平和大使」の派遣を阿見町に要請している。20年度から予算化するようにになった。町の公報にも掲載された。戦争展も実施している。



柳岡幸子（やさと）：百里平和公園のくさとりや整備などに協力したい。百里音頭なども普及していきたい。



川崎勝男（東海）：東海駅のギヤラリーで戦争展を開いている。村長も「9条は守っていく」と言っている。インターネットの掲載されている。



多崎貞夫（笠西）：6月24日「日本の青空」を上映する。思い切って高校生は無料にするようにした。高校前でチラシ配付。1市2町の合併で「非核平和宣言」が無くなったが、署名を添えて新しい笠岡市議会に要請、問題なく採択された。9条の会ではいろいろな方が協力・参加している。社民党の議員も協力してくれ、自民党の保守議員も現在の改憲に不安をもっている。「5・3集会」では「9条連」の方たちとも協力してやった。



加藤孝生（東海）：9条の会準備会ではDVDを利用して学習と話し合いを進めて8回開催している。毎回新しい人が参加してきている。そんな中で3人の仲間を迎え入れた。日本平和委員会の財政が厳しい状況であり、10月までに500名の仲間づくりの方針を掲げている。茨城も積極的に増やさなければならぬ。



松原日出夫（水戸西）：従軍慰安婦、沖縄の集団自決、侵略戦争などの歴史的事実が書き換えられている。憲法9条と共に戦争と平和の問題も重視する必要がある。方針案の「憲法守ろう！平和仲間」を「戦争と平和を考える平和仲間」に変えた方がよい。

水野秧一郎（阿見）：全国の平和情勢や活動状況をみる上で平和新聞の果たす役割は大きい。読者を増やしていこう。仲間づくりも自主的に取り組むのはいいが、やはりやるときはやるという「強制力」も必要である。



円道正三（内原・友部）：図書館のギヤラリーを昨年11月登録・予約し、今年8月に戦争展を行なう。地元の資料をつくるために努力している。また、市当局も8月いっぱい、公民館で「戦争遺品展」を開催する予定。

